

IV Googleフォーム

実験回数:16回 (見つけた回数:14回) 平均:3分35秒

▽実験方法

生徒：先生にQRコードを渡し、専用のURLよりスプレッドシートを見て現在地を確認する。

先生：生徒から受け取ったQRコードをiPadやスマートフォンで読み込み、毎時間、現在地の入力をする。

◆考察

先生方は、授業準備等の対応で忙しく、送信できないことが多々あったため、探すのに時間がかかってしまうことが多かった。しかし、更新頻度が高い先生はすぐに見つけることができた。

△使用後

《先生に取ったアンケート結果》

・ 利便性について

やや不便:4人 (67%)、不便:2人 (33%)

《改善点》

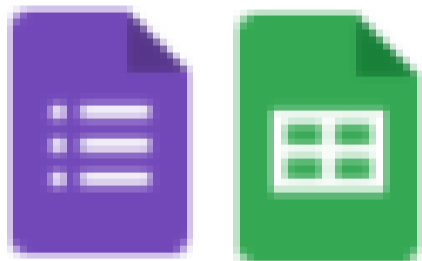
・ 先生の負担が非常に大きく、入力頻度を減らすように対応策を考える。

《対応策》

・ 場所の選択肢を細かく準備し、ワンクリックで済ますように変更する必要がある。

・ 比較的に入力しやすい時間で、一日分の授業教室を一回で入力できるようにする。

実験日	タイム	見つけた場所
2021/11/12	0:00:36	情報科準備室
2021/11/15	0:01:16	2階PC
2021/11/16	0:05:29	教育相談室
2021/11/16	0:06:01	弓道場
2021/11/18	0:02:02	職員室
2021/11/19	0:12:08	進路室
2021/11/19	0:01:30	情報科準備室
2021/11/22	0:01:45	第一pc室
2021/11/25	0:03:13	17R
2021/11/25	0:02:52	吹奏楽部のパーカス部屋
2021/11/25	0:05:27	33R
2021/11/26	0:06:02	弓道場(の前)
2021/11/26	0:00:16	情報科準備室
2021/11/26	0:01:31	生徒相談室



山崎先生	2021/11/18 10:58:15	四階	パソコン室
黒川先生	2021/11/18 14:28:3	三階	情報科準備室
長谷川先生	2021/11/17 8:12:09	二階	職員室
南雲先生	2021/11/16 15:50:1	一階	弓道場
永野先生	2021/11/18 14:37:21	一階	情報科準備室
小澤先生	2021/11/18 14:34:12	一階	体育館

◆まとめ

実験結果より

自力 先生の負担は全く無いが、生徒の負担が大きく効率は一番悪かった。

エアタグ 先生の負担はほぼなく、効率は一番良かったが、受信するまで生徒に負担があった。

定型文 先生 ・ 生徒の負担が大きく、効率もあまりよくなかった。

Googleフォーム 先生の負担が大きく、効率もあまりよくなかった。

入力・送信方法を考え直すことにより、負担を少なくし、効率よく見つけることができるようにする。

提案例

Googleフォームについて ・ ・ ・ 1日、1週間分を前もって知らせてもらうようにする。

実験より見えてきたこと

・ 永野先生は、情報科準備室にいる割合が高かったため、すぐ発見できた。

・ 長谷川先生、南雲先生は、情報科準備室に滞在している割合が低かったため、発見が遅れた。